

◎平成28年度予算案の主な内容

- ・大学生の無利子奨学金の対象者を、47万4千人に増員（1万4千人増）：（880億円）
- ・非正規社員から正社員への転換などをはかるための、キャリアアップ助成金（452億円）
- ・多子世帯の保護者負担を軽減するため、年収約360万円までの世帯について、現行の小学校3年生までとされている年齢制限を撤廃し、第2子の保育料を半額、第3子以降の保育料の無償化を完全実施
- ・ひとり親家庭の保護者負担を軽減するため、市町村民非課税世帯（年収約270万円まで）の保育料を無償化し、年収約270万円から約360万円までの世帯は第1子の保育料を半減、第2子以降の保育料を無償化する
- ・ひとり親家庭の児童扶養手当の多子加算額を引き上げ（第2子加算額1万円：36年ぶり引き上げ・約33万世帯）、第3子以降加算6千円（22年ぶりの引き上げ・約10万世帯）
- ・ベビーシッター利用の際の費用補助を1回あたりの補助額を1,700円から2,200円に500円増額
- ・介護従事者の負担軽減のため、介護ロボットを介護保険施設への導入費用の助成（上限300万円）
- ・介護ロボット等を活用した見守り支援機器の導入費用の助成（上限10万円）
- ・介護離職の防止に向け、介護休業給付の給付水準を育児休業と同水準に引き上げる（賃金の40%→67%）
- ・診療報酬改定においては薬価は▲1.22%（▲1,200億円）、材料価格は▲0.11%（▲100億円）となる一方で、診療報酬本体は+0.49%（+500億円）。

- ・子育て支援、福祉施設の設置、空き店舗への店舗誘致、Wi-Fiの設置、まちなか交流スペースの設置、ポイントカードシステムの導入、アンテナショップの設置、オリジナル商品の開発等の活性化支援事業（20,3億円）

- ・「攻めの農林水産業」に向けた施策を推進し、農業の規模拡大、防災のための農業基盤整備についても、282億円増

- ・防衛関係費全体としては1.5%増の5兆541億円とし、防衛力を着実に整備。